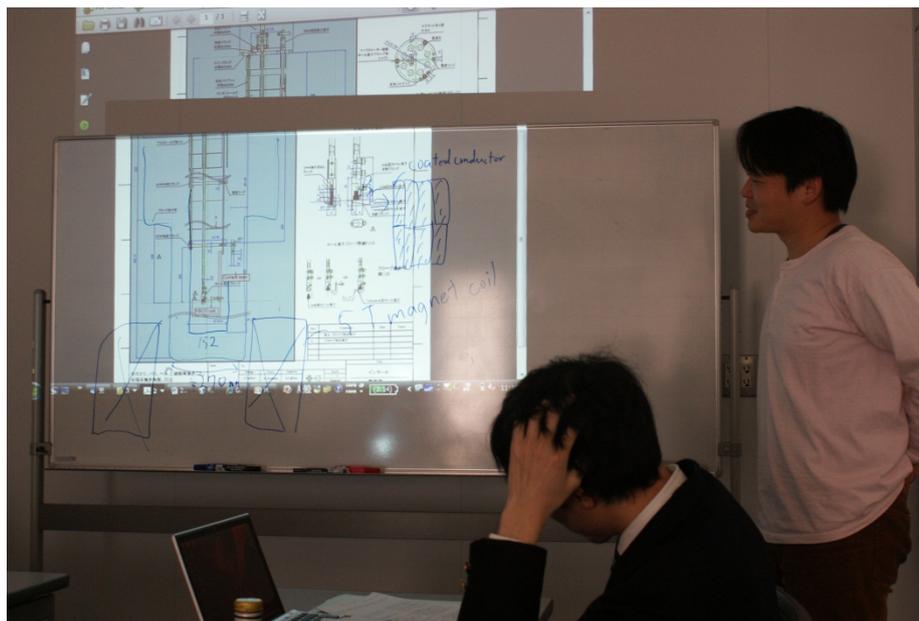


大崎研究室での研生活 ー研究編ー

研究室ミーティング

毎週1回、全研究室メンバーが集まりミーティングが行われます。自分の研究の進行状況や研究関連分野の論文紹介、学会参加報告などを各自が行います。先生方や先輩学生との間で色々なディスカッションを行うことで、研究の進め方について貴重なアドバイスを貰え、状況打開のヒントが得られます。



(a) 博士課程以上は英語で発表しています



(b) 活発な議論が繰り広げられます

図3：研究室ミーティング風景

実験室

実験室には MRI や超電導マグネット、3次元磁場分布測定装置をはじめとして様々な実験装置が揃っています。また、実験装置や電気回路を自作するための電子部品や工具も充実しています。



図4：実験室全景（よく「工場みたい！」と言われます）



(a) 本体



(b) コントロールパネル

図5：最大5Tの磁界が発生可能な超電導マグネット

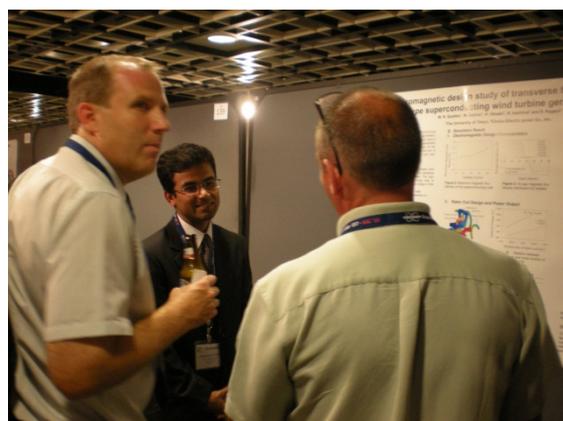


図 6：磁場強度 4.7 T の MRI 装置

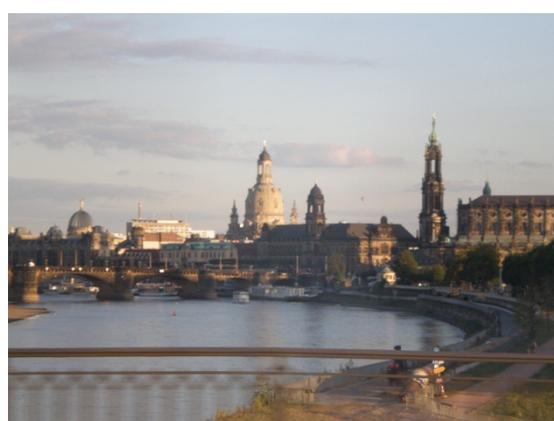
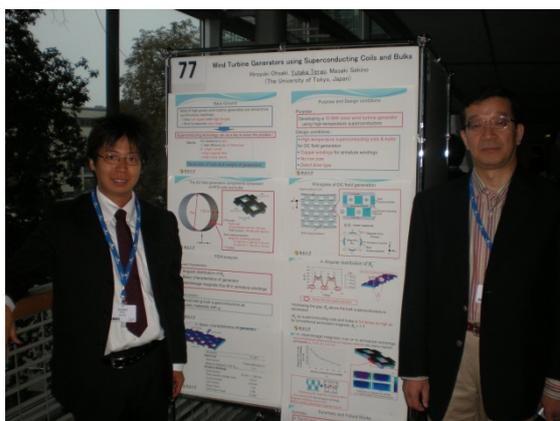
学会発表

研究成果が出れば国内外の学会で発表が出来ます。研究を行っていく上で、研究室のメンバーだけでなく、国内外の大学・企業などの研究機関の科学者・エンジニアたちに自身の研究成果を発表し、活発に議論することで様々な視点から自分の研究を見直すことができ、新しいアイデアを思いつくことがあります。語学力は（さほど）問題ではありません！大切なのは積極的にコミュニケーションを取ろうという「心意気」です！！もちろん、発表が済んでからの現地観光は大きな楽しみの一つです。

今までの研究発表先としては、国内ならば南は沖縄から北は北海道とほぼ日本全土に行くことが出来ます。さらに国外では欧米諸国(ドイツ, フランス, ポルトガル, アメリカ etc...)からアジア諸国 (韓国, 中国, マレーシア etc...)まで、グローバルな発表環境が用意されています。



(a) ワシントン DC (アメリカ) での学会発表 in 2010



(b) ドレスデン(ドイツ)での学会発表 in 2009

図 7：国際学会での発表風景 (ほんの一例です)